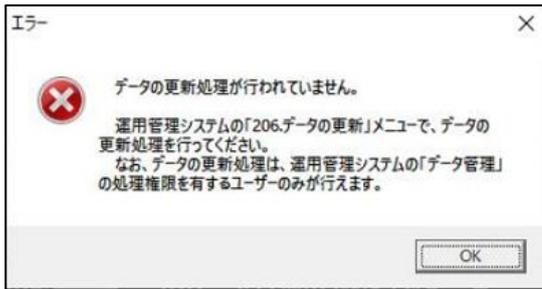


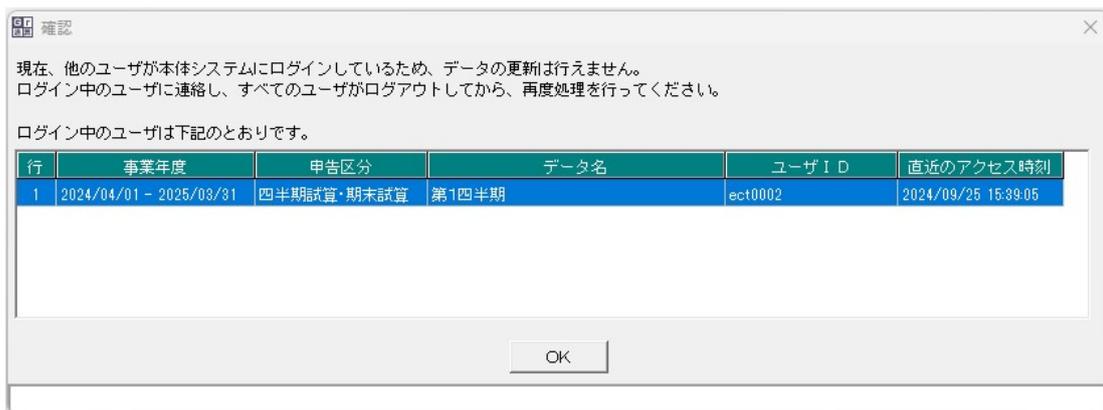
【ログイン中のユーザ情報が表示され、運用管理システム「206. データの更新」ができない場合の対処方法】

I エラーの概要

1. 新しい版数の提供後に年度版システムを起動しようとした際に、データの更新が行われていないため、以下のエラーメッセージが表示されます。



2. メッセージに従って、運用管理システムのメニュー「206. データの更新」を実行しようすると、以下のメッセージが表示され、実行できません。



II エラーの原因

データの更新を行おうとしている対象年度の年度版システムに、ログイン中のユーザ情報が残っていることが原因となり、データの更新を行えない状況です。

ログイン中の情報が残っているユーザIDでログアウトするために、Webメニューからシステムを起動すると、最新版のシステムをインストールしてしまい、上記I 1. のメッセージが表示され、堂々巡りとなります。

III 対処方法

最新版へ更新前に利用していた版数のシステムを起動し、ログイン中のユーザ情報をクリアすることで、システムに誰もログインしていない状態とします。そのうえで、最新版のシステムから、運用管理システムの「206. データの更新」を実行します。

年度版システムが最新版に更新されていないPC(※1)がある場合は、以下の1. の対処方法(p.3~p.6)を行ってください。

※1 最新版の提供後に、Webメニューからシステムを1度も起動していないPCです。

Webメニューからシステムを起動すると、最新版のシステムに更新されてしまうのでご注意ください。

すべてのPCの年度版システムが最新版に更新されている場合は、以下の2. の対処方法(p.7~p.14)を行ってください。

1. 年度版システムが最新版に更新されていないPCがある場合

対象年度のシステムが最新版に更新されていないPCで、以下の作業を行ってください。

(1) ショートカットからのシステム起動

以下の方法で、データの更新を行う対象年度の年度版システムを、ショートカット(※)から起動します。

※ Webメニューから年度版システムを起動すると最新版に更新されてしまうため、ショートカットを作成して起動する必要があります。

※ ISOイメージファイルでシステムをインストールし、ショートカットからシステムを起動している場合は、1. (1) の処理は不要なため、以下の1. (2) へ進んでください。

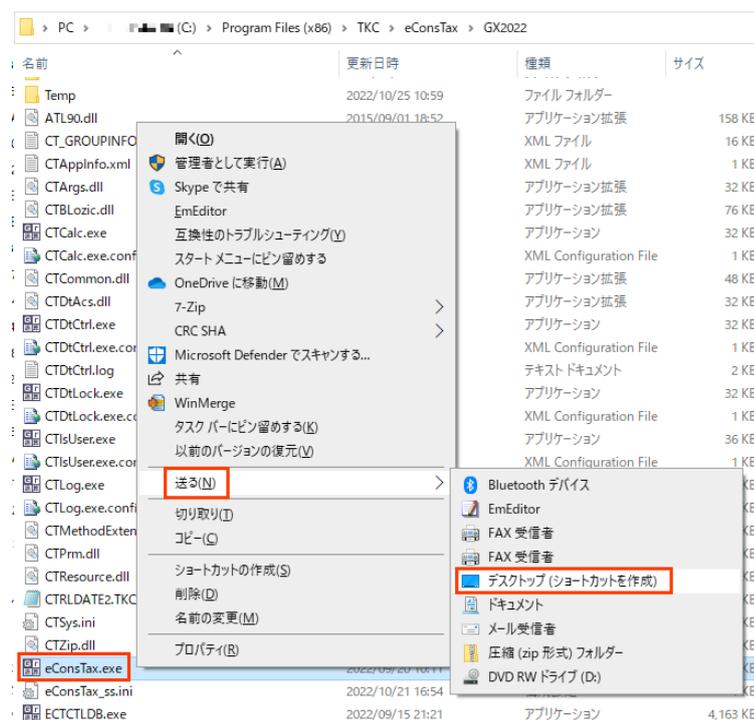
①e-TAX グループ通算の場合

1) 以下の exe を右クリックし、[送る] > [デスクトップ(ショートカットを作成)] をクリックします。

C:\Program Files (x86)\TKC\ConsTax\GXYYYY\ConsTax.exe

※ 「YYYY」の箇所は、対象のシステム年度の西暦です。

例えば、令和4年度の場合は、「GX2022」となります。



2) デスクトップに作成された「eConsTax.exe-ショートカット」のファイルを右クリックし、[プロパティ] をクリックします。

3) [ショートカット] タブの [リンク先] 欄で、設定済みの以下の文字列の後ろに、半角

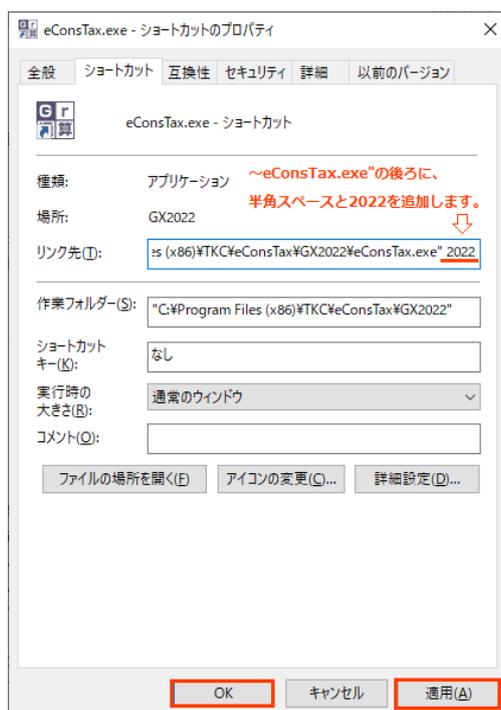
スペースと対象年度の西暦の4桁の数字を追加します。

(以下は例として令和4年度(2022)です。)

※ 以下赤字の箇所です。(半角スペースは□で表現しています。)

"C:\Program Files (x86)\TKC\ConsTax\GX2022\ConsTax.exe"□2022

4) [適用] ボタンをクリックし、[OK] ボタンをクリックして [プロパティ] 画面を閉じます。



5) 当該ショートカットファイルをクリックし、対象年度の年度版システムを起動します。

②eConsoliTax の場合

手順は上記①と同様です。1) の exe は以下のパスであり、①とは異なります。

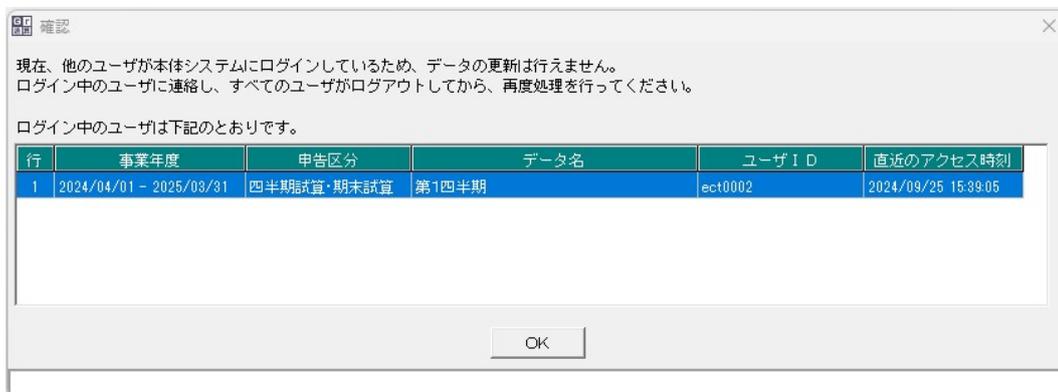
C:\Program Files (x86)\TKC\ConsTax\CTYYYY\ConsTax.exe

※ 「YYYY」の箇所は、対象のシステム年度の西暦です。

例えば、令和4年度の場合は、「eCT2022」となります。

(2) ログイン中のユーザIDの確認とログアウト処理

- ①運用管理システムのメニュー「206. データの更新」を押した際に表示される下記画面のユーザIDを確認します。



- ②以下のオンラインQ & Aをご参照いただき、ログイン中のユーザIDで、システムからログアウト(※)をしてください。

※通信エラーやPCの強制断などでシステムを強制終了した場合は、実際には現在ログインされていないが、ログイン情報が残っています。

ログイン情報が残っているユーザIDで対象のデータベースにログインし、システムを終了することでログイン情報をクリアできます。

もしくは、強制ログアウトの機能を使用し、ログイン中のユーザ情報をすべてクリアしてください。

【ご参考】[\(二重ログイン\)「指定されたユーザIDで、既にログインしているユーザがいます。」の対処方法\(0101498\)](#)

【ご参考】[強制ログアウトの処理方法、使用目的及び注意点\(0101423\)](#)

- ③必要に応じてログイン一時停止の処理を行います。

ログイン一時停止の処理は、一時的に親法人の担当者以外のユーザが、対象のデータにログインできないようにする処理です。データの更新を行う場合は、他のユーザが処理対象のデータ(=通常は最後に作成したデータ)に対してログイン一時停止を行うことで、データの更新が行えなくなることを防ぐことができます。

【ご参考】[ログイン一時停止の処理方法と使用目的\(0101464\)](#)

(3) 最新版へのシステム更新

Webメニューからデータの更新対象の年度版システムを起動し、システムを最新版に更新します。

※ISOイメージファイルをご利用の場合は、ISOイメージファイルからシステムを最新版に更新します。

【ご参考】 [ISOイメージファイルを使用したシステムのインストール方法 \(0101287\)](#)

(4) データの更新

運用管理システムにログインし、メニュー「206. データの更新」で対象年度を指定し、実行してください。

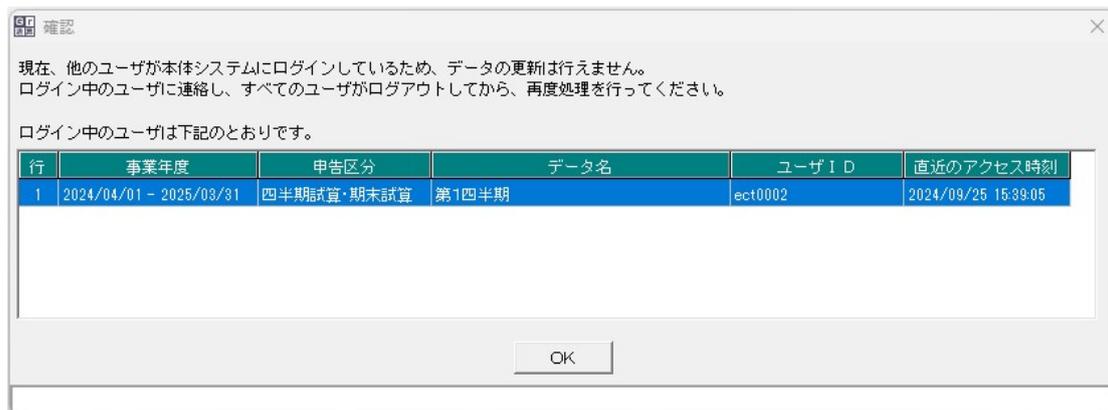


2. すべての PC の年度版システムが最新版に更新されている場合

年度版システムが最新版に更新されてしまった PC で、以下の作業を行ってください。

(1) ログイン中のユーザ ID の確認

運用管理システムのメニュー「206. データの更新」を押した際に表示される下記画面のユーザ ID を確認します。



(2) 対象年度のシステム DB の削除

以下のオンライン Q & A の「1 対象年度のシステム DB を削除する方法」ご参照いただき、データの更新の対象年度のシステムデータベース (DB) を削除してください。

※ 当該オンライン Q & A の【回答】欄の※ 3 に、対象年度のプロダクトキーを確認する手順があるのでお控えください。後でプロダクトキーの登録が必要になります。

【ご参考】 [システムデータベース \(DB\) の削除方法 \(0101621\)](#)

(3) システムフォルダの削除

「C:\Program Files (x86)\TKC\ConsTax」の直下にある以下のフォルダを削除してください。

① e-TAX グループ通算の場合

以下イメージの青枠の 4 つのフォルダ

1) eCTCTRL

2) ectctrlverchk

3) GXYYYY ※ (例) 令和 4 年度版の場合は「GX2022」

4) gxYYYYverchk ※ (例) 令和 4 年度版の場合は「gx2022verchk」

※ 「YYYY」は、データの更新の対象年度です。(例) 令和 4 年度版：2022

② eConsoliTax の場合

以下イメージの赤枠の 5 つのフォルダ

1) eCTCTRL

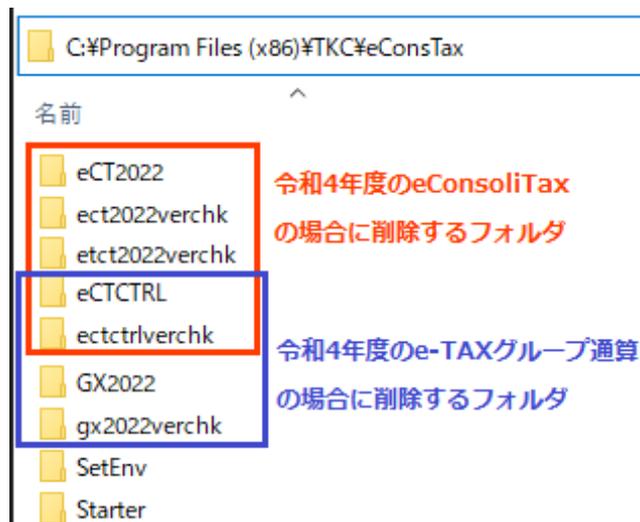
2)ectctrlverchk

3)eCTYYYY ※(例)令和4年度版の場合は「eCT2022」

4)ectYYYYverchk ※(例)令和4年度版の場合は「ect2022verchk」

5)etctYYYYverchk ※(例)令和4年度版の場合は「etct2022verchk」

※「YYYY」は、データの更新の対象年度です。(例)令和4年度版：2022

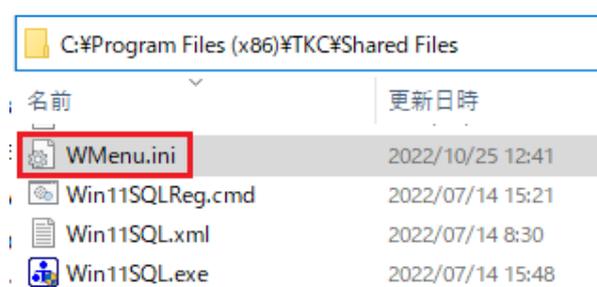


(4) WMenu.ini の記述の削除

上記(3)で削除したシステム年度版の情報の削除です。

①以下の.ini ファイルをメモ帳などのテキストエディタで開きます。

C:\Program Files (x86)\TKC\Shared Files\WMneu.ini



②以下の記述が残っている場合は削除して保存します。

1)e-TAX グループ通算の場合

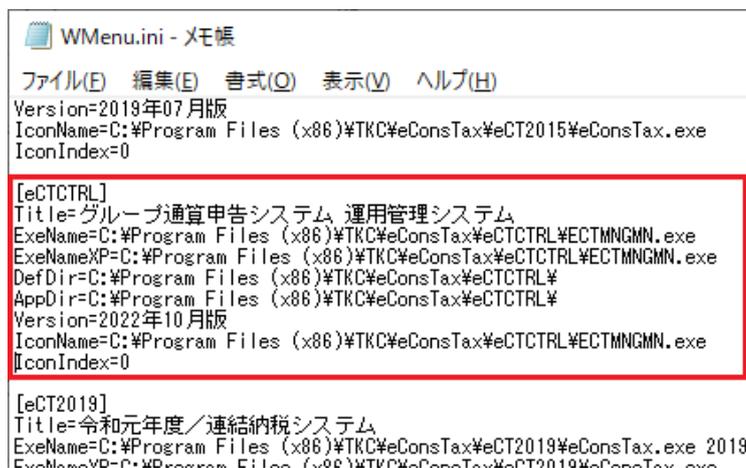
以下の a.と b.の2つの記述を削除します。

a. 運用管理に関する記述

「[eCTCTRL]~IconIndex=0」の9行を削除します。

[eCTCTRL]
Title=連結納税システム 運用管理システム
ExeName=C:\Program Files (x86)\TKC\ConsTax\CTCTRL\ECTMNGMN.exe
ExeNameXP=C:\Program Files (x86)\TKC\ConsTax\CTCTRL\ECTMNGMN.exe
DefDir=C:\Program Files (x86)\TKC\ConsTax\CTCTRL\
AppDir=C:\Program Files (x86)\TKC\ConsTax\CTCTRL\
Version=YYYY 年 MM 月版
IconName=C:\Program Files (x86)\TKC\ConsTax\CTCTRL\ECTMNGMN.exe
IconIndex=0

※Versionの「YYYY 年 MM 月」はインストール版数です。(例)2022 年 10 月版など



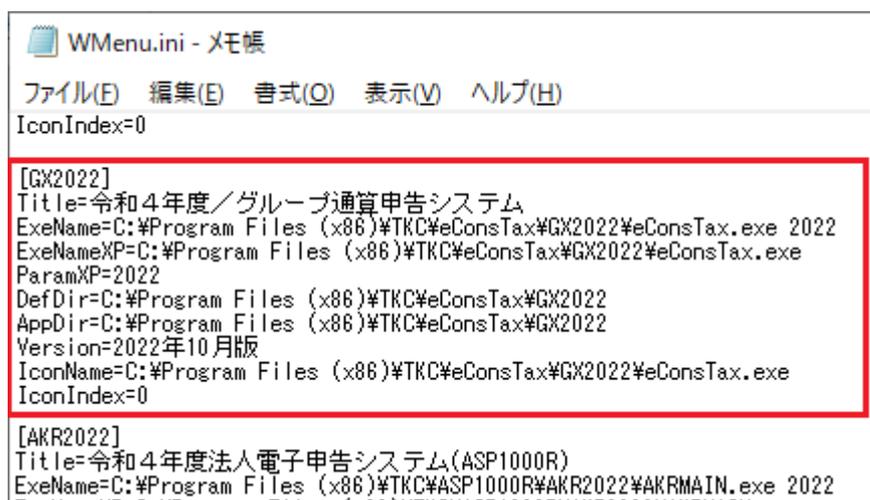
b. 年度版に関する記述

「[GXYYYY]~IconIndex=0」の10行を削除します。

[GXYYYY]
Title=令和 Y 年度/グループ通算申告システム
ExeName=C:\Program Files (x86)\TKC\ConsTax\GXYYYY\ConsTax.exe YYYYY
ExeNameXP=C:\Program Files (x86)\TKC\ConsTax\GXYYYY\ConsTax.exe
ParamXP=YYYY

DefDir=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥GXYYYY
AppDir=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥GXYYYY
Version=YYYY 年 MM 月版
IconName=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥GXYYYY¥eConsTax.exe
IconIndex=0

※「YYYY」は対象年度のシステムの西暦です。(例)令和4年度版の場合は「2022」です。
※Versionの「YYYY 年 MM 月」はインストール版数です。(例)2022 年 10 月版など



2)eConsoliTax の場合

以下の a.と b.の2つの記述を削除します。

a. 運用管理に関する記述

「[eCTCTRL]～IconIndex=0」の9行を削除します。

[eCTCTRL]
Title=連結納税システム 運用管理システム
ExeName=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCTCTRL¥ECTMNGMN.exe
ExeNameXP=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCTCTRL¥ECTMNGMN.exe
DefDir=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCTCTRL¥
AppDir=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCTCTRL¥
Version=YYYY 年 MM 月版
IconName=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCTCTRL¥ECTMNGMN.exe
IconIndex=0

※Versionの「YYYY 年 MM 月」はインストール版数です。(例)2022 年 10 月

```

WMENU.ini - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
Version=2019年07月版
IconName=C:\Program Files (x86)\TKC\ConsTax\CT2015\ConsTax.exe
IconIndex=0

[eCTCTRL]
Title=グループ通算申告システム 運用管理システム
ExeName=C:\Program Files (x86)\TKC\ConsTax\CTCTRL\ECTMNGMN.exe
ExeNameXP=C:\Program Files (x86)\TKC\ConsTax\CTCTRL\ECTMNGMN.exe
DefDir=C:\Program Files (x86)\TKC\ConsTax\CTCTRL\
AppDir=C:\Program Files (x86)\TKC\ConsTax\CTCTRL\
Version=2022年10月版
IconName=C:\Program Files (x86)\TKC\ConsTax\CTCTRL\ECTMNGMN.exe
IconIndex=0

[eCT2019]
Title=令和元年度／連結納税システム
ExeName=C:\Program Files (x86)\TKC\ConsTax\CT2019\ConsTax.exe 2019
ExeNameXP=C:\Program Files (x86)\TKC\ConsTax\CT2019\ConsTax.exe

```

b. 年度版に関する記述

- i) が eConsoliTax の記述、ii) が e-TAX 連結納税の記述です。
- i) 「[eCTYYYY]～IconIndex=0」の10行を削除します。

```

-----
[eCTYYYY]
Title=令和 Y 年度／連結納税システム
ExeName=C:\Program Files (x86)\TKC\ConsTax\CTYYYY\ConsTax.exe YYYYY
ExeNameXP=C:\Program Files (x86)\TKC\ConsTax\CTYYYY\ConsTax.exe
ParamXP=YYYYY
DefDir=C:\Program Files (x86)\TKC\ConsTax\CTYYYY
AppDir=C:\Program Files (x86)\TKC\ConsTax\CTYYYY
Version=YYYYY 年 MM 月版
IconName=C:\Program Files (x86)\TKC\ConsTax\CTYYYY\ConsTax.exe
IconIndex=0

```

- ※「YYYYY」は対象年度のシステム西暦です。(例)令和4年度版の場合は「2022」です。
- ※Versionの「YYYYY年MM月」はインストール版数です。(例)2022年10月版など

- ii) 「[ETCTYYYY]～IconIndex=0」の10行を削除します。

```

-----
[ETCTYYYY]
Title=令和 Y 年度 T K C 電子申告システム(e-TAX 連結納税)
ExeName=C:\Program Files (x86)\TKC\ConsTax\CTYYYY\ETCTMAIN.exe YYYYY
ExeNameXP=C:\Program Files (x86)\TKC\ConsTax\CTYYYY\ETCTMAIN.exe
ParamXP=YYYYY

```

DefDir=C:\Program Files (x86)\TKC\ConsTax\CTYYYY
AppDir=C:\Program Files (x86)\TKC\ConsTax\CTYYYY
Version=YYYY 年 MM 月版
IconName=C:\Program Files (x86)\TKC\ConsTax\CTYYYY\ETCTMAIN.exe
IconIndex=0

※「YYYY」は対象年度のシステム西暦です。(例)令和4年度版の場合は「2022」です。
※Versionの「YYYY 年 MM 月」はインストール版数です。(例)2022 年 10 月版など

```
WMenu.ini - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
Space=471859200
Delete=C:\Program Files (x86)\tkc\ET10201

[eCT2022]
Title=令和4年度/連結納税システム
ExeName=C:\Program Files (x86)\TKC\ConsTax\CT2022\ConsTax.exe 2022
ExeNameXP=C:\Program Files (x86)\TKC\ConsTax\CT2022\ConsTax.exe
ParamXP=2022
DefDir=C:\Program Files (x86)\TKC\ConsTax\CT2022
AppDir=C:\Program Files (x86)\TKC\ConsTax\CT2022
Version=2022年10月版
IconName=C:\Program Files (x86)\TKC\ConsTax\CT2022\ConsTax.exe
IconIndex=0

[ETCT2022]
Title=令和4年度TKC電子申告システム(e-TAX連結納税)
ExeName=C:\Program Files (x86)\TKC\ConsTax\CT2022\ETCTMAIN.exe 2022
ExeNameXP=C:\Program Files (x86)\TKC\ConsTax\CT2022\ETCTMAIN.exe
ParamXP=2022
DefDir=C:\Program Files (x86)\TKC\ConsTax\CT2022
AppDir=C:\Program Files (x86)\TKC\ConsTax\CT2022
Version=2022年10月版
IconName=C:\Program Files (x86)\TKC\ConsTax\CT2022\ETCTMAIN.exe
IconIndex=0
```

(5) ISOイメージファイルから最新版へ更新する前に利用していた版数のシステムのインストール

以下のオンラインQ & Aをご参照いただき、最新版に更新する前に使用していた版数のシステムを、ISOイメージファイルからインストールしてください。

ここでインストールいただく版数は、「最新版」ではないことをご注意ください。

上記(2)でメモしていただいたプロダクトキーをご入力ください。

【ご参考】 [ISOイメージファイルを使用したシステムのインストール方法 \(0101287\)](#)

(6) 上記(1)で確認したログイン中のユーザIDのログアウト処理

①上記(5)でインストールした**最新版に更新前に使用していた版数のシステムを Windows のショートカット(※)から起動**します。

※ Windows のスタートボタン> T K Cシステム> 令和X年度/グループ通算申告システム (eConsoliTax の場合は、「令和X年度/連結納税システム」となります。

②念のため、上記(1)で確認したログイン中のユーザIDが、以下の画面でもログイン中となっていることを確認します。

[各法人の処理状況の確認] ボタン> [TISC の処理状況] のタブで、[ログイン状況] 列が「○」になっているユーザIDを確認します。

※ [処理区分] 列が、当該ユーザIDが当該年度でログイン中の処理区分です。

四半期試算・期末試算や修正申告はログイン中のデータベースの可能性が複数ございますが、ケース名は表示されません。

行	ユーザID	ユーザ名	所属会社名	ログイン状況	ログイン時刻	処理区分	電話番号	内線
19	ect9393	ect9393		×				
20	ect9393	ect9393		○	2022/10/25	四半期・期末	0308818841	3483

③以下のオンラインQ & Aをご参照いただき、ログイン中のユーザIDで、システムからログアウト(※)をしてください。

※ 通信エラーやPCの強制断などでシステムを強制終了した場合は、実際には現在ログインされていないが、ログイン情報が残ってしまいます。ログイン情報が残っているユーザIDを対象のデータベースにログインし、システムを終了することでログイン情報をクリアできます。

もしくは、強制ログアウトの機能を使用し、ログイン中のユーザ情報を全てクリアしてください。

【ご参考】 [\(二重ログイン\)「指定されたユーザIDで、既にログインしているユーザがいます。」の対処方法\(0101498\)](#)

【ご参考】 [強制ログアウトの処理方法、使用目的及び注意点\(0101423\)](#)

④必要に応じてログイン一時停止(※)の処理を行います。

※ ログイン一時停止の処理は、一時的に親法人の担当者以外のユーザが、対象のデータにログインできないようにする処理です。データの更新を行う場合は、他のユーザが処理対象のデータ(=通常は最後に作成したデータ)に対してログイン一時停止を行うことで、データの更新が行えなくなることを防ぐことができます。

【ご参考】 [ログイン一時停止の処理方法と使用目的\(0101464\)](#)

(7) 最新版へのシステム更新

Webメニューでデータの更新対象の年度版システムを起動し、システムを最新版に更新します。

※ISOイメージファイル(DVD)をご利用の場合は、ISOイメージファイル(DVD)からシステムを最新版に更新します。

【ご参考】 [ISOイメージファイルを使用したシステムのインストール方法\(0101287\)](#)

(8) データの更新

運用管理システムにログインし、メニュー206で対象年度を指定し、データの更新を行ってください。



以上